

おくざわ高広サポートーズでは、  
価値観やライフスタイルが多様化する令和の時代にあって  
町田市に暮らす43万人“一人ひとりの幸せ”がかなう未来へ向けて、  
共に活動する仲間を募集しています



1. 一人ひとりを支え、伸ばす“共育都市”  
子ども一人ひとりを地域全体で育み、誰もが共に支えあい、成長しあう町田へ。
2. 新時代の商都をつくる“創発都市”  
官民の連携・共創により、まちの魅力を高め、新たな価値を創造・発信する町田へ。
3. 高齢者も障害者も安心して暮らせる“超福祉都市”  
従来の福祉や医療に最新のテクノロジーを組み合わせ、誰もが安全安心に暮らせる町田へ。
4. 文化・スポーツ・自然が息づく“感動都市”  
都市の利便性と自然の豊かさが調和し、感動=ワクワクと暮らしやすさが共存する町田へ。



おくサポ通信Vol.1  
元・東京都議会議員(町田市選出)  
町田市長選挙2022惜敗



# おくざわ 高広



1. 町田市議会第二回定例会が開催
2. 学校跡地の活用アイディア募集
3. 補正予算をPick Up
  - ・中小企業向け光熱水費&燃料費補助
  - ・がん患者のアピアランスケア支援
  - ・帯状疱疹ワクチン予防接種助成

町田市では、6/5～6/28の日程で市議会が開催され、約28億円の補正予算や学校におけるICT教育環境の整備、南大谷地区の住居表示の変更等について審議が行われています。町田市議会は、早稲田大学マニフェスト研究会が実施している議会改革度ランキング「情報共有」部門において、3年連続全国一位の評価を得ています。市民と市政の距離が近づくことで、市民目線でムダづかいを減らしたり、官民連携で魅力的な街づくりへと繋げたりすることが期待されます。

また、町田市では大規模な学校統廃合計画が進んでいますが、跡地をどのように活用していくかは大きな課題の一つです。7/5までの期間、跡地活用のアイディア募集が行われており、民間からの自由な発想と行政のもつ町田市全体を俯瞰した視点の融合による魅力的な街づくりを目指しています。是非、アイディアをお寄せください。

【事業の内容】

物価高騰の影響を受ける市内中小企業者の事業継続及び経営安定のために、町田商工会議所が実施する給付金交付事業に要する経費を補助します。

(1) 補助事業者	町田商工会議所			
(2) 給付対象者	市内に本店、支店等を置く、中小企業基本法第2条第1項に規定する中小企業者等			
(3) 給付対象費	直近1年間に支払った光熱水費及び燃料費の合計額			
(4) 給付額	下記の区分に応じた金額を給付 (1事業所当たりの上限額は10万円)			
	光熱水費等	給付金額	光熱水費等	給付金額
	10万円未満	1万円	30万円以上	6万円
	10万円以上	2万円	40万円以上	8万円
	20万円以上	4万円	50万円以上	10万円
(5) 申請方法	電子申請、郵送 窓口			
(6) 申請受付期間	2023年9月1日～2023年10月31日			

補正予算の中で、注目したい事業を3つご紹介します。

- ①中小企業向け光熱水費&燃料費補助では、コロナ禍と物価高騰により厳しい経営状況にある中小企業者を支援します。9/1~10/31に申請が必要なので、お気を付けください。  
②がん患者向けアピアランスケア支援では、がん治療を理由として、抜け毛等の外見の変化により日常生活にストレスを抱える方々への支援を行います。民間の調査によると、乳がん患者

【事業の内容】

2023年7月1日から、医療用ウィッグや胸部補整具等の購入費用等の助成事業を開始します。

事業開始日	2023年7月1日
助成対象者	がんと診断され、その治療を行っている方で、がん治療に伴う脱毛、乳房の切除等により、医療用ウィッグや胸部補整具が必要となっている方 ※申請は、対象者一人につき一生涯2回まで
助成対象品	・医療用ウィッグ ・胸部補整具(補整下着、シリコンパッドなど)
1回当たりの助成金額	・助成対象品の購入費用又はレンタル費用の1/2(上限2万円)
周知方法	・広報まちだ ・町田市ホームページ、LINEやメール配信 ・医療機関での周知

の半数以上が、見た目の変化による治療の継続や仕事・人間関係に影響があると答えており、誰もが自分らしく暮らしていく社会を目指すにあたって、とても重要な観点です。  
③帯状疱疹ワクチン任意予防接種助成では、50歳以上の市民に対して、ワクチン接種費用の一部を助成します。帯状疱疹は、50歳を超えると発症リスクが高まり、80歳までに3人に1人が発症するとされています。発症者の2割は治療後も長期にわたる痛みで日常生活に支障をきたすとされ、予防が重要です。是非お近くの方にもお知らせいただきたい事業です。

【事業の内容】

帯状疱疹ワクチン任意予防接種にかかる費用の一部を助成します。

対象者	50歳以上の市民(約21万人)
対象ワクチンと接種回数	①生ワクチン 1回 ②不活化ワクチン 2回(1回目接種から2カ月以上あけて接種)
助成額	①生ワクチン 1回あたり5,000円(1回まで) ②不活化ワクチン 1回あたり10,000円(2回まで) ※町田市で費用助成が受けられるのは、生涯に一度
接種場所	市内指定医療機関
助成開始	2023年7月1日
周知方法	広報まちだ 町田市ホームページ

## おくサポインタビュー♪第一回-森澤恭子さん-



### Q.自己紹介をお願いします！

品川区長の森澤恭子です。都議会の頃から奥澤さんと同じ会派と一緒に政策づくりや議会活動に取り組んできました。昨年末に戦後7例目の再選挙の末に区長に就任しました。よろしくお願いします。

### Q.おくざわ高広さんはどんな人ですか？

どんな難題でも粘り強く取り組み、最後には“新しい答え=解決策”を見つけ出す人です。私も含めた政治家や民間企業の方、時には都庁の職員からも頼られる、そんな存在です。

また、相手の役職などで態度を変えたりせずに、どんな立場の人にもフェアに接するところも尊敬しています。そのぶん、誤解されやすい面もあるのは“玉にきず”ですが(笑)

### Q.品川区長から見て、町田市にはどんな魅力がありますか？

都心に近く便利でありながら、自然が豊かな点は大きな魅力だと思います！これから街づくりでは、“ウェルビーイング”つまり自分らしく幸せに暮らしていくという観点が重要になると考えています。言い換えると、一人ひとりの幸せが叶うように、真剣に考え続ける街づくりであり、奥澤さんにはその先頭に立って頑張ってほしいと思います！

### 《おくざわ高広プロフィール》

- ・1982年5月1日 栃木県佐野市生まれ
- ・慶應義塾大学法学部政治学科卒業(体育会野球部ヘッドコーチ)
- ・三菱地所㈱、学習塾・通信制サポート校、衆議院議員秘書を経て、東京都議会議員一期
- ・都議会では、会派「無所属 東京みらい」幹事長や都市整備委員会副委員長などを歴任
- ・2022年 町田市長選挙にて31,011名にご投票いただきても惜敗
- ・現在は、障がい者福祉施設 農福連携リーダー、教育系NPO法人 理事、SNSを活用した魅力発信プロジェクトなど、町田の魅力向上に奮闘中！
- ・著書に、町田の魅力と未来像を描いた「町田独立宣言」 最新の活動は



街頭活動つづけてます



農福連携プロジェクト！



町田ダブル成人式にて